























# かしこい消費者 取扱絵表示

洋服を買う場合には、ファッション性だけに目を奪われず「洗う」ことを考えて選ぶことが大切です。衣類の取り扱い方を示す「取扱絵表示」、あなたはいくつわかりますか？

(1) 洗い方(水洗い)		液温は95℃を限度とし、洗たくができる。	(4) ドライクリーニング		ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロエチレンまたは石油系のものを使用する。
		液温は60℃を限度とし、洗たく機による洗たくができる。			ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する。
		液温は40℃を限度とし、洗たく機による洗たくができる。			ドライクリーニングはできない。
		液温は40℃を限度とし、洗たく機の弱水流または弱い手洗いがよい。	(5) 絞り方		手絞りの場合は弱い、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい。
		液温は30℃を限度とし、洗たく機の弱水流または弱い手洗いがよい。			絞ってはいけない。
		液温は30℃を限度とし、弱い手洗いがよい(洗たく機は使用できない)。	(6) 干し方		つり干しがよい。
		水洗いはできない。			日陰のつり干しがよい。
(2) 塩素漂白の可否		塩素系漂白剤による漂白ができる。			平干しがよい。
		塩素系漂白剤による漂白はできない。		日陰の平干しがよい。	
(3) アイロンの掛け方		アイロンは210℃を限度とし、高い温度(180~210℃)で掛けるのがよい。	日本工業規格 JIS L 0217 「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法(抜粋)」		
		アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度(140~160℃)で掛けるのがよい。			
		アイロンは120℃を限度とし、低い程度の温度(80~120℃)で掛けるのがよい。			
		アイロン掛けはできない。			

